

会議等名	平成 25 年 第 5 回海老名市外部評価委員会
日 時	平成 25 年 10 月 17 日 (木) 15 : 00 ~ 17 : 15
場 所	海老名市役所 7 階 702 会議室
出席者	出席者：大治委員長、諏訪副委員長、成瀬副委員長、小島委員、古河委員、牛村委員、谷川委員、門倉（正）委員、門倉（久）委員、石川委員、斉藤委員、古谷委員 (以上 12 名出席) 欠席者：なし 海老名市：清水財務部長、秦財務部次長、橋本参事兼企画財政課長、告原主幹兼政策経営係長、吉岡主事、西尾
<p>1 開 会 橋本 財務部参事兼企画財政課長</p> <p>2 委員長あいさつ 本日は、今年度を実施した外部評価結果に伴う担当部課における次年度の方向性や考え方について、説明が必要と思われる事業を事務局で選定し、担当課から説明を受けることになっているとのことです。タイムスケジュールなど議事進行については事務局に委ねますので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>3 議 題 【議事進行：告原主幹兼政策経営係長】</p> <p>(1) 各所管課における次年度の方向性や考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の進め方について事務局から次のとおり説明を行う。 ・外部評価対象全 74 事業の外部評価結果及び平成 26 年度における担当部課の考え方を一覧表にした。(資料 2) このうち、外部評価委員会への説明が必要と思われる 13 事業を事務局にて選定し、所管課説明スケジュール(資料 1)に基づき、担当課の職員より説明を行う。 ・1 事業あたり 10 分程度、複数事業がある課は一括して説明を行い、その後、外部評価委員会より質問や意見を伺う。 <p>□外部評価委員より意見のあった事業 各事業における質疑応答は省略し、外部評価委員からの主な意見を整理。</p> <p>○全事業に共通する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価に当たってヒアリングを行い、外部評価結果として記載した以上のやりとりをしたが、やりとりした内容を考慮して次年度の取り組みを検討しているように感じられない。 ・“現状継続”と“見直し継続”があるが、どの程度の見直しなら“見直し継続”となるのか、“見直し”の定義付けが必要ではないか。 	

- ・外部評価委員としてしっかり考えた上で、質問や意見等を出しているため、外部評価委員の考えも汲んでいただき、質問に対してしっかり答えられるようにしてほしい。事務局からも指導してほしい。
- ・県の方針に従って市の方針を決めるのではなく、市としてどう取り組むべきかしっかり検討してほしい。

○団体補助事業に共通する意見

- ・市民が見た際に、市の補助を受け、どのような事業を行っているのかわかるような実績報告書にしてほしい。
- ・補助金の名称から内容の想像ができないものが多い。
- ・補助金を支出することが事業内容なのか。補助金を支出することが適正なのか、補助金の目的どおり適正に使われたのかが市民にもわかりやすい形で示すことが補助事業のポイントではないか。市民にわかりやすい実績報告書等としておくことで、情報公開請求があった際にもすぐに対応が可能になる。
- ・例えば、補助金のうち、人件費については10/10以内を補助額とするものがあったが、10/10以内では100%市の裁量となってしまう。客観的にチェックできるような示し方はないのか、問題意識として持っていただき、研究してほしい。
- ・補助事業でどのような事業を行い、自主事業でどのような事業を行ったのかわかるような整理が必要ではないか。

○各事業に対する意見・要望

- ・障がい者医療費の助成（保健福祉部障がい福祉課）
⇒本来助成すべき人に助成できないことがないように、しっかり確認して進めてほしい。
- ・海老名市中心市街地周辺地区の整備促進（まちづくり部都市計画課）
⇒最近、海老名市では、色々な所で大規模開発等が行われているが、農地を保存することも考えてほしい。水田は自然のダムでもある。ゲリラ豪雨等大雨が降った場合のことも考えて開発を進めてほしい。
- ・木造住宅耐震化の促進（まちづくり部都市計画課）
⇒来年度は、マンションの耐震診断の補助も始めるとのことだが、名称が“木造住宅”のままでよいのか。
- ・自転車駐車場等の整備（まちづくり部駅周辺対策課）
⇒西口の区画整理がまち開きした後、自転車駐車場が足りなく、自転車が溢れることがないようにしてほしい。
- ・合併処理浄化槽整備の助成（建設部下水道課）
⇒農地への影響を少なくするために、高度処理合併浄化槽の設置を促進するように、補助制度を立ち上げてはどうか。来年度の実施は不可能でも研究してほしい。

- ・生産・流通・出荷関連施設等整備の支援（経済環境部農政課）
⇒事業名が、“生産・流通・出荷関連”となっていることから、第6次産業化を目指し、生産だけでなく、流通・出荷関連にも助成できるよう、要綱の見直しをしてはどうか。農業に対する市の考え方をしっかり検討し、見直してほしい。

(2) その他

- 【委員】** 外部評価結果として市長に報告書を提出してから2カ月が経過している。スピード感がないのではないか。
- 【事務局】** 数カ月の差でも社会情勢は大きく変化する。市の財政事情も良いとは言えない。外部評価委員からご指摘いただいた以外のことも含め、来年度に向けて、議論や情報収集が必要になる。次年度の取り組みの担当部課としての整理は、来年度に間に合う今の時期に設定している。
また、9月議会の決算審査における議員からの意見も反映する必要があることもこの時期に設定した理由の1つである。
- 【委員】** 外部評価委員の判断と担当部課の考えが違う場合、今後の取扱いはどうするか。
- 【事務局】** 外部評価委員からの意見は重いものと思っている。しかし、外部評価委員からの指摘を全てそのまま受ける訳ではなく、しっかり検討することとしている。説明が不十分だった事業もあったかもしれないが、外部評価委員からいただいた意見は市内部で調整させていただき、議会からの意見等も踏まえ、来年度予算編成作業の中で、総合的に判断していく。本日、資料でお示ししている“次年度の方向性及び考え方”は担当部課の考えの段階であり、市として決定したものではない。今回の委員会は、委員との意見交換の場とさせていただいたため、いただいた意見については、しっかり検討しながら、来年度の予算編成作業を行っていく。

4 閉会

橋本 財務部参事兼企画財政課長

以 上